

第2回 情報学シンポジウム

シミュレーションで迫る ブラックホールの真の姿



NASA/JPL-Caltech



©RIKEN
スーパーコンピュータ「富岳」

人類は長い年月をかけ、理論や観測の発展により宇宙の謎を解き明かしてきましたが、現在でも謎に満ちた天体として残っているのがブラックホールです。超強力な重力を持ち、周辺的气体や星を呑み込むブラックホールの周辺ではいったい何が起きているのでしょうか。また、それが引き起こす現象はどのようなものなのでしょうか。本シンポジウムでは、ブラックホールのコンピュータ・シミュレーションの最先端で活躍している研究者が、これまでの成果を紹介するとともに未だ残る謎に対してどのように迫っていくかわかりやすく語ります。

背景: Designed by Freepik

講師： 大須賀 健(筑波大学計算科学研究センター・教授)
村上 弘志(東北学院大学情報学部・教授)

12月21日(土) 13:30~15:30 (13:00開場)

東北学院大学 五橋キャンパス 講義棟 L404

(地下鉄南北線五橋駅南2出口直結) ※駐車場はございません

主催：東北学院大学情報学部データサイエンス学科

後援：仙台市教育委員会 河北新報社

問い合わせ：東北学院大学 情報学部データサイエンス学科 (機材室)

TEL：022-354-8170 E-mail：ds@ml.tohoku-gakuin.ac.jp

入場無料・申込不要
どなたでも受講できます